

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	42	口腔ケアは、就寝前のみ全員の声掛けや支援をしており、毎食後の支援まではできていない。口腔内を清潔にすることで、咀嚼や飲み込む動作、誤嚥等の防止、感染リスクも低くなると考えられる。食事前の声出し運動を生活の一部として取り組むことで認知症の進行を抑え、健康面、口腔内の維持をすることができる。	毎食後、全員にうがいや口腔ケアの声をお掛けする。生活の一部として、食事前の声出し運動に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・個々に口腔ケアの支援が異なるため、ヘルパーが支援内容を把握できるように、一覧表を作成する。 ・業務の内容を検討する。 ・食後、個々に合った口腔ケアの声掛けを行う。 ・必要に応じて職員が支援する。 ・昼食前に声出し運動(発声)を取り入れる。 	3ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。